

事業計画

大阪の国際化に寄与し、大阪の国際競争力の強化を図るため、大阪へ海外の活力を呼び込む「外国人の受入促進・活動環境の整備」、当財団のノウハウを発信していくための「国際交流情報の収集及び発信」、若年者のグローバル化への対応を支援する「グローバル人材の育成」について、「OFIX 中期経営計画」に基づき、取り組んでいく。

1 外国人の受入促進・活動環境の整備

(137,373 千円)

(1) 外国人相談機能の強化

① 外国人ワンストップ総合相談窓口の運営(20,000 千円)＜一部新規＞

(大阪府補助事業)

在留外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、情報提供・相談を行う一元的相談窓口を運営する。

ワンストップで諸問題に対応するとともに、公的機関等へ必要に応じて通訳派遣を行う。

対応言語 (11 言語)	日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語
対応時間	(月・金曜日) 9時から20時まで (火・水・木曜日) 9時から17時30分まで (第2・第4日曜日) 13時から17時まで ※月1回弁護士による専門相談を実施

② 府内市町村等の外国人相談の強化(地域合同相談会の共催:535 千円)

複数の府内市町村及び国際化協会、関連士業団体、大学等との共催による地域合同相談会を実施する。また、相談員・通訳者向けの研修を実施する。

③ 一日インフォメーションサービス事業(140 千円)

大阪法務局、大阪入国管理局等で構成する実行委員会にメンバーの一員として参画し、在阪外国人のための一日相談会を実施する。

[実施時期] 2回(予定)

[開催場所] 大阪国際交流センター

[実施主体] 一日インフォメーションサービス実行委員会

④ 外国人相談等にかかる通訳・翻訳ボランティアの活動促進(2,509 千円)

一日相談会や行政での通訳・翻訳(コミュニティ通訳・翻訳)ボランティアの活動を促進するため、府内市町村国際交流協会等と連携して市町村の行政制度や専門知識について理解を深めるための研修を実施する。

(2) 災害時の外国人支援の強化

- ① 災害多言語支援センターウェブサイト（仮称）及び災害情報アプリ（仮称）の開発・運営（68,553千円の一部）＜新規＞（大阪府委託事業）
 - ・ 災害時に外国人が必要な災害や交通等の情報を多言語で発信するウェブサイトを開発する。
 - ・ ウェブサイトと連動したアプリを開発し、プッシュ通知による情報発信を行う。
 - ・ OFIX ホームページと連動し、平時から外国人に必要な情報を提供する。
- ② 事業者向け多言語対応講座（2,367千円）＜新規＞（大阪府委託事業）
 - ・ 災害時に外国人旅行者等に対して、交通・宿泊事業者等が多言語で適切な対応ができるように、多言語テキストを使用した実践的な講座を実施する。
- ③ 高等教育機関向け防災ワークショップの開催（181千円）
 - ・ 留学生が在籍する大学や専門学校及び市町村・国際交流協会の担当者を対象に、災害時の活動経験等についての講義と災害時の留学生支援の課題についてのワークショップを実施する。
 - [実施時期] 9月（予定）
 - [共催]大阪府、関係大学
 - [協賛]（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会
- ④ 府内国際化協会等による「災害時ネットワーク」の連携促進（840千円）
 - ・ 府内国際化協会等と連携して、外国人向け防災訓練や、災害時の通訳・翻訳ボランティア研修等を実施し、災害時外国人支援の充実を図る。
 - [実施団体]（公財）八尾市国際交流センター等（予定）
 - ・ 大規模災害時における相互応援体制の構築を図るため、広域訓練の実施等により、大阪府、府内市町村、近畿地域国際化協会連絡協議会をはじめ、全国の関係団体等との連携強化を図るとともに、府内国際化協会等による連携を促進する。
 - ・ 災害時に外国人の支援を行う災害時通訳・翻訳ボランティアを対象に研修を実施する。
 - ・ ボランティア人材に登録する大学、大阪府との三者協定を締結して連携の強化を図るとともに、CARES - Osaka と共同した新たな事業の検討・実施に取り組む。
 - [実施内容・実施時期（予定）]
 - 12月 「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」を活用した講義
 - 1月 大阪府地震・津波災害対策訓練に参画し、災害多言語支援センターの運営に関する実地訓練

(3) OFIX ボランティアの強化

- ① OFIX ボランティア登録・派遣制度の運営（406千円）＜一部新規＞
 - ・ ホストファミリー、語学ボランティア、文化ボランティアで構成する OFIX ボランティア登録制度を運営し、OFIX 事業のほか、公共的な団体等からの依頼に応じて派遣を行う。

- ② 災害時通訳・翻訳ボランティア制度の充実
- ・ 災害時通訳・通訳ボランティアの拡充を図るため、大学等と連携し、教員や外国人留学生のボランティア登録を促進するほか、市町村におけるボランティア制度の整備・充実を促す。
- ③ その他多言語ボランティア活動の促進（29,173 千円）
- ・ 市町村と連携し、多言語観光ボランティア制度の運営等を行い、外国人旅行者へのおもてなし機運を醸成するとともに、災害時のボランティアと連携を図る。
（大阪府委託事業）
 - ・ 6月に実施されるG20大阪サミット2019で活動する学生ボランティア研修をはじめ、ボランティア活動のコーディネーションを実施する。

(4) 留学生の活動促進事業

- ① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営（19,627 千円）
- ・外国人留学生を呼び込み、安心して勉学や多様な活動に参加してもらえるよう留学生寮を運営する。
 - ・オリオン寮の将来のあり方について検討を行い、一定の方向性を得る。
[所在地] 堺市北区東上野芝町2丁226番
（JR 阪和線 上野芝駅から北東へ約400m）
[室数] 85室（全室単身者用）
[居室使用料] 月額26,000円（光熱水費等を除く）
- ② 大阪府堺留学生会館オリオン寮活用事業（996 千円）
- 留学生のための就職サポート事業
 - ・府内の企業への留学生の就職を促進するため、専門機関が実施する就職イベントと連携して、留学生のキャリアカウンセリングを実施する。
[実施時期] 2月（予定）
[共催]（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会
 - 留学生向け防災訓練の実施
 - ・留学生が災害時に適切な対応ができるよう、7月にオリオン寮生をはじめとする府内留学生を対象とした防災訓練を実施する。
 - ・大学等の要請に基づき、留学生を対象とした防災講習を実施する。
 - 地域交流会の実施
 - ・オリオン寮内の集会室を活用し、地元自治会等との交流会を開催する。
（5月：ウエルカムパーティー、12月：ウインターパーティー）
- ③ 留学生への特別入場証の発行（356 千円）
- ・留学生の日本文化理解促進のため、関係機関の協力により、府内大学等に在籍する留学生を対象に美術館、博物館等へ無料で入館できる特別入場証を発行する。
[発行部数] 約30,000部（見込）
[対象施設] 43施設
[共催]（公財）大阪国際交流センター、
（公財）大遊協国際交流・援助・研究協会

2 国際交流情報の収集及び発信

(85,066 千円)

(1) OFIX からの情報発信

- ① 災害多言語支援センターウェブサイト（仮称）及び災害情報アプリ（仮称）の 開発・運営（68,553 千円の一部）＜新規：再掲＞
- ② OFIX ホームページ・SNS の運営（5,602 千円）
 - ・ OFIX 事業や国際交流に関する情報をホームページ、SNS で発信するとともに、OFIX ニュース（季刊）を発行し、印刷版と配信版（メールマガジン）で提供する。
 - ・ 災害多言語支援ウェブサイトとのスムーズな連動を図るため、既存ホームページを刷新する。
 - ・ 多言語ホームページを充実するとともに、やさしい日本語でのページについて検討する。
- ③ その他の広報ツール（1,342 千円）
 - ・ OFIX 事業を企業や大学等に広く PR するために、イベントグッズ等を作成する。

(2) 民間国際交流団体の活動促進

- ① 近畿地域国際化協会連絡協議会、市町村国際交流協会等との連携促進（15 千円）
 - ・ 近畿地域国際化協会連絡協議会において災害時多言語支援センター設置訓練等を引き続き行う。また、市町村国際交流協会等との災害時外国人向け防災訓練の実施などの事業を通じた連携・情報交換を進める。
- ② ワン・ワールド・フェスティバルへの参画（75 千円）
 - ・ 国際協力活動を行っている NPO/NGO や政府機関等が一堂に会するワン・ワールド・フェスティバルに OFIX 事業に関するブースを出展する。
 - [実施時期] 2 月（予定）
 - [開催場所] カンテレ扇町スクエア・大阪市北区民センター・扇町公園（予定）
 - [実施主体] ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会
- ③ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV・NET）への参画
 - ・ 関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的として設立された関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV・NET）の活動を支援する。（2019 年度の事務局は、（公財）大阪国際交流センター）

3 グローバル人材の育成

(18,946 千円)

(1) 国際理解教育の促進

① 国際理解教育の促進 (1,074 円)

- ・ 府内学校の児童・生徒が外国に関心を持ち、様々な国についての理解を促進することをめざし、外国人留学生等を国際理解教育外国人サポーターとして登録し、府内学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣する。
- ・ 外国人サポーター登録説明会を大学キャンパス等で行うとともに、外国人サポーター育成研修を6月に実施する。
- ・ 本事業による研修・活躍機会の提供等を通じて、外国人留学生等が支援する側として定着することを図る。

[対象] 延べ60校

[登録サポーター数] 100人(1回あたり謝金6,000円 うち派遣依頼校が1/2負担)

[共催] (公財)大遊協国際交流・援助・研究協会

(2) 海外研修生受入事業

① 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業の実施 (5,399 千円)

建築家 安藤忠雄氏が第1回国際建築家賞を受賞された副賞を大阪府に寄贈されたことを契機に2007年から記念事業として実施。建築・芸術分野を専門としているアジア諸国の若者を大阪に招き、日本の建築や芸術等を実地で学ぶ機会を提供し、日本文化等に対する理解を深める。また、海外からの研修生と日本の大学生が交流する機会を提供する。

[実施時期] 10月(29日間予定)

[対象者] アジア諸国の建築・芸術等を専門としている大学院生等 8人

[プログラム] 企業研修、安藤忠雄氏建築物視察(淡路島・直島等)、大阪府研修近畿大学との建築ワークショップ等